

阿武隈川水系 摺上川ダムの効果 (平成29年10月22~23日 台風21号)

○台風21号の影響に伴い摺上川ダム流域は、1時間雨量が最大で約12.7mmとなるなど、10月21日20時頃から23日13時時点までの累加雨量が166.7mmに達し、ダムへの最大流入量は248.54m³/sを記録しました。

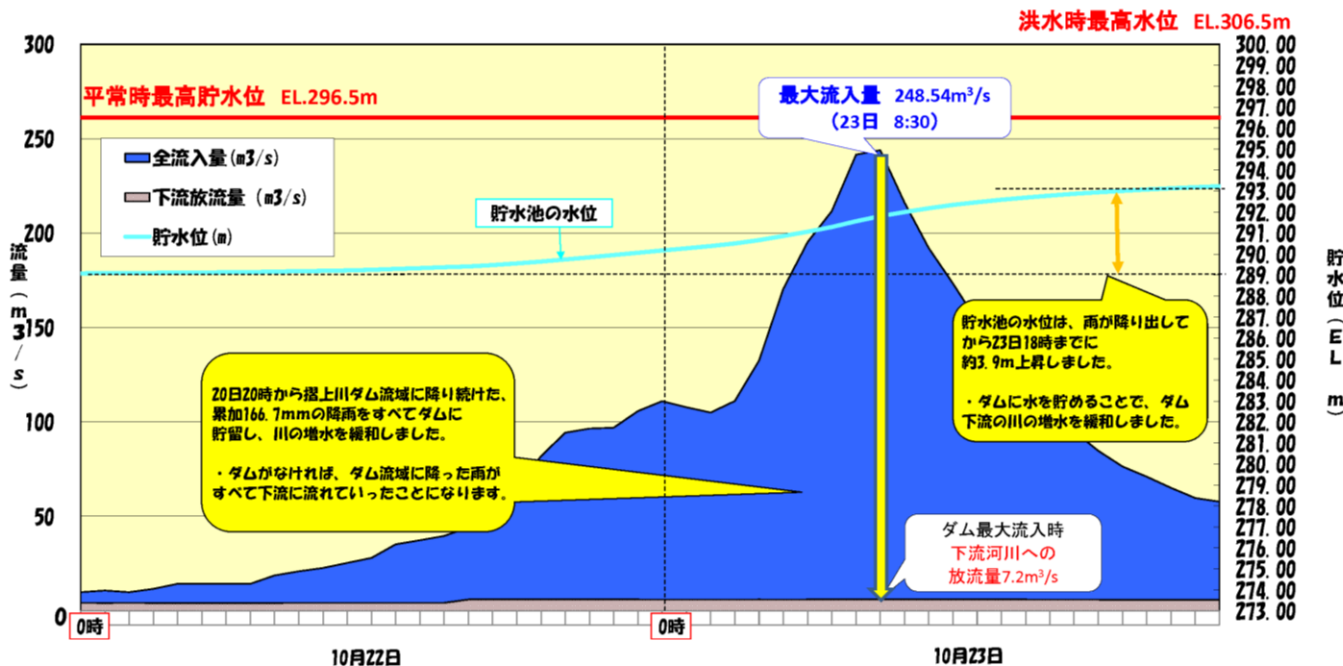
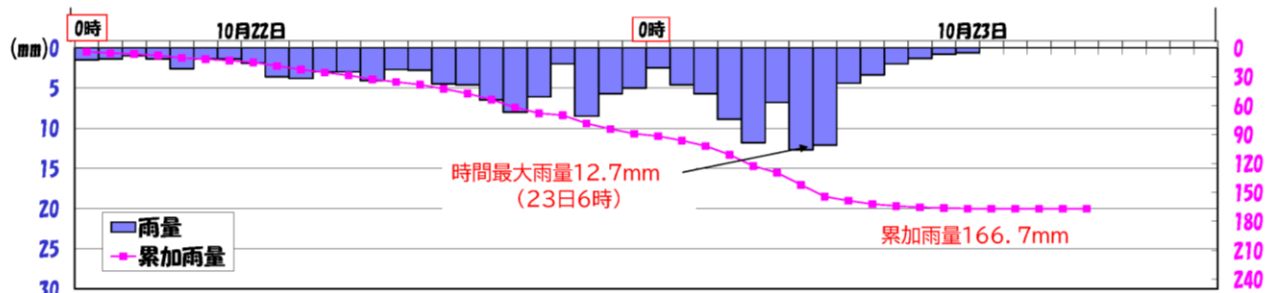
○今回の洪水における防災操作では、この摺上川ダム流域に降った大量の降雨をすべて貯留し、貯留量は約969万m³(東京ドーム7.8個分)にもなりました。

○ダム下流の瀬ノ上地点(福島市瀬ノ上付近)において、約1.07mの水位を下げる効果があったと推測されます。

瀬ノ上地点でのダムの効果(推定)



※数値は速報値であり、今後変わる可能性があります。



ダムが無かった場合に比べ「約1.07m」低く抑えることができました。

■ダムが無かった場合の水位
■ダムによる調節後の水位

約1.07m水位を下げる効果があったものと推定されます。